

船舶事故等調査報告書

平成22年8月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010広第68号	
事故等名	座洲	
発生日時	平成22年4月29日 05時00分ごろ	
発生場所	香川県直島町牛ヶ首島北方沖 宇野港田井灯標から真方位046°950m付近 (概位 北緯34°31.3′ 東経133°58.5′)	
事故等調査の経過	平成22年5月12日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 第八十八^{ひき}寿丸、271トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 126654、株式会社サンコー</p>	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	本船は、船長ほか5人が乗り組み、ハマチの稚魚約16トンを積載して、船首約3.2m、船尾不詳の喫水で、宇野港入港の時間調整をするため、牛ヶ首島北方沖を手動操舵によって低速力で東進中、平成22年4月29日05時00分ごろ、牛ヶ首島北方の出崎内 ^{でさきうち} に座洲した。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南南西、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の末期、潮流 南流約3ノット、潮高 約0.8m、底質 砂泥</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、牛ヶ首島北方沖を東進中、船長が、事前に海図で出崎内の水深を確認していなかったことから、出崎内に座洲したものと考えられる。</p>
原因	本インシデントは、本船が、牛ヶ首島北方沖を東進中、船長が事前に海図で出崎内の水深を確認していなかったため、出崎内に座洲したことにより発生したものと考えられる。	